

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 54	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論Ⅲ 713	be English Logic and ExpressionⅢ Smart		

## 1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、確かな学力、多文化共生時代を生きるために求められる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、それを具現化するため、次の3点を編修の基本方針としました。

### ① 「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語で表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- ・英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）の技能を鍛える。

→語彙力、文法力、慣用表現力を育てるためのコーナーを配置しています。

**F**orms & **E**xpressions 英語で発信するために必要な英語の基本形（文法）を理解する。

**G**-GUIDE 個々の文法の意味や働きを把握し、発信につなげる。

**E**-GUIDE 個々の表現の意味や働きを把握し、発信につなげる。

**V**ocabulary テーマに関する語彙を増やす。

**C**HECK 言語活動（TASK）に必要な文法項目や背景知識を確認する。

**T**ips for building your vocabulary 語彙を増やすためのコツをつかみ、発信には欠かせない語彙力を高める。

### ② 「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号、第5号）




- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを判断する力を育てる。
- ・英語での会話、事物の描写、論理展開などを学習して、自己表現力・対話力を育てる。

→現象を分析し因果関係などを判断する力や、論理的に思考する力を育てるためのコーナーを用意しました。

**I**ntroduction (pp.6-15) 論理的に考えたり伝えたりすることの意味や重要性、それと表現との関連などを解説。論理的に「把握したことを伝える」「考えを伝える」力を養います。

**T**ips for Improving Your English (各課1ページ目) 英語の発信力を高めるヒントを紹介しています。

→各レッスンでは課ごとのテーマに関連した複数の資料を活用しながら、情報や考え、気持ちなどを論理的に伝えるためのさまざまなTASKを設けています。話す（やり取り・発表）活動、書く活動をバランスよく、また有機的に組み合わせて配置しました。

**T**ASK  話す（やり取り）  話す（発表）  書く

→各ゾーンにテーマを設定し、そのテーマにそったトピックで、スピーチ・プレゼンテーション・ディベートのうちひとつの活動を行います。

Zone 1 & 4 : プレゼンテーション

Zone 2 : スピーチ

Zone 3 & 5 : デイバート

### ③ 「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号，第3号）


- 「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- 他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→学習到達目標を提示することにより、主体的に学習に取り組む態度を育みます。

レッスンごとの学習到達目標を Self-Check, Zone ごとの学習到達目標を Study Flow として提示し、英語で表現する意欲と主体性を持たせます。学習の振り返りと自己評価も行えるようになっています。

→主体的・対話的に学習に取り組む活動を、各課のゴールに置きました。

**A**ctive **L**earning (各課の最終ページ) 各課のゴールとなる最終ページを Active Learning と題し、与えられたテーマについて主体的に考えたり調べたりしたうえで、自己発信を行う場としました。また、Peer Review として、ペアやグループでお互いの活動や英文を評価したりチェックしたりする場を設けました。

 **SHARE & WRITE** トピックについて考え、ステップを踏みながらペアやグループで考えを共有する活動を通して、自分の意見をまとめていきます。協働を通して新たな可能性を創り出す共創力をはぐくめるように設計しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
各 レ ッ ス ン 1 ペ ー ジ 目 と 4 ペ ー ジ 目	LESSON 1～15	高校生にとって身近な「時間の過ごし方」「スポーツ・娯楽」のほか、「人類共通の課題」「日本の労働力」「多様性」など、幅広い多様なテーマや場面を取り上げました。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。)	各レッスンの： 1 ページ目 Start-Up 4 ページ目 Active Learning
	LESSON 4, 5, 6, 12	勤労に係る「ボランティア活動」「人生に必要なもの」、また創造性および自主・自立の観点から「時間の過ごし方」「スポーツや娯楽」をテーマに取り上げました。 (第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。)	35~46, 77~81 ページ
	LESSON 1, 2, 3, 7, 9	社会に積極的に参画する心を育むため、「町づくり」「図書館」「持続可能性」「人類共通の課題」などをテーマに取り上げました。 (第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。)	17~20, 23~32, 49~52, 59~66 ページ
	LESSON 7, 8, 9	「人類共通の課題」として温暖化、「生態系」を守る観点からプラスチック問題、また「持続可能なライフスタイル」などのテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めました。 (第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。)	49~52, 55~66 ページ
	LESSON 10, 11, 13, 14, 15	言語や異文化に対する理解や関心が深まるように、「外国人労働者」「フェアトレード」「留学」「英語の公用語化」「多様性」など、自国や他国の文化や習慣、技術、諸問題に関するテーマを取り上げ、思考したり表現したりする活動を設けました。 (第5号 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。)	69~76, 85~98 ページ

1 ページ目	Forms & Expressions	当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする事で、主体的に予習と復習をする学習習慣を身に付けることができるように工夫しました。(第2号)	各レッスンの1ページ目
2 ~ 3 ページ目	TASK CHECK	各3領域の技能を用いて表現をする活動を有機的に組み合わせて、言語の統合的な理解を促す構成としました。(第1号)	各レッスンの2~3ページ目
4 ページ目	SHARE & WRITE	SHARE & WRITE では、協働を通して社会形成に参画する喜びを与えるように工夫しました。(第3号)	各レッスンの4ページ目
1 ページ コラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tips for building your vocabulary ① ~ ③</li> <li>• EXTENSION</li> </ul>	言語について、また社会問題について、幅広い知識と教養を身に付けるコラムを設けました。(第1号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 53, 83, 100 ページ</li> <li>• 21, 22, 54 ページ</li> </ul>
各 Zone 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Presentation 1, 2</li> <li>• Speech</li> <li>• Debate 1, 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プレゼンテーション・スピーチ・ディベートの活動を通して、相手の気持ちを配慮しつつ、意図を円滑に伝達するための知識を提供しました。(第1号)</li> <li>• 社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法(ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど)の知識を提供しました。(第2号)</li> <li>• 60ページでは、「原発廃止」のテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めました。(第4号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28~31 ページ (Presentation 1)</li> <li>44~45 ページ (Speech)</li> <li>60~65 ページ (Debate 1)</li> <li>78~79 ページ (Presentation 2)</li> <li>90~93 ページ (Debate 2)</li> </ul>
返 し 後 見	Study Flow	生徒自身が目標を意識し、学習意欲を向上させることができるように、学習到達目標を一覧形式で表示しました。(第2号)	後見返し

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ① 学習上の配慮

- 題材や登場する人物などについては、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に留意しました。
- 豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすい書体や、色彩豊かなデザイン、親しみやすいイラストを用いるように心がけました。
- 各レッスンの Start-Up のパラグラフと会話、Interactions の Context for Learning は、音声を二次元コードで提供し、学習者が自由に再生して発音や聞き取りの学習を行えるようにしました。

#### ② 題材の選定

- 性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努め、広いものの見方ができるように配慮しました。
- 題材の内容は、都市・町、社会問題、ボランティア、環境、幸福、言語、多様性など、さまざまな分野から選びました。

#### ③ 豊富な資料の提示

- 各レッスンの活動を行う前提として、さまざまな種類のデータ・グラフ・図表等を提示し、これを読み解きながら与えられたトピックについて考え、その考えをクラスメイトと共有し、意見交換ができるようにしました。

#### ④ 環境への配慮

- 管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- 植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-54	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論Ⅲ 713	be English Logic and ExpressionⅢ Smart		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

- 1) 英語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深め, これらを実際のコミュニケーションにおいて目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせるため, 各レッスン中に **Sounds (音声), Vocabulary (語彙), Forms & Expressions (文法, 表現), Tips for Improving Your English (言語の働き)** のコーナーを設けて要素ごとに解説と例を提示し, タスクの目的, 場面, 状況に応じて活用できるよう設計しました。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて英語で考え, 情報の要点や, 話し手や書き手の意図などを的確に理解して, 論理的に表現したり伝え合ったりする力を養うため, 各 Zone の REVIEW にある **Logical Thinking** で論理的に発信するための流れや注意点を解説しました。
- 3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 相手に配慮しながら主体的, 自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うため, 特に **5th Zone** では **“Language and Identity”** をテーマに, 英語およびその他の言語, またその背景にある文化について考える活動を用意しました。

### (2) 論理・表現Ⅲの目標を実現するための工夫

- ・英語学習の特質を踏まえ, 話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの3つの領域別に設定された目標の実現のため, レッスンごとにテーマを設けました。また, 各レッスンのテーマに関連した複数の資料を活用しながら, 情報や考え, 気持ちなどを論理的に伝えるための, さまざまなタスクを配置し, 英語の表現力を育成できるよう設計しました。
- ・学習目標をゾーンごと, レッスンごとに明示し, 適切な分量のタスクを学びやすい順序で置くことで, 英語で表現する意欲と主体性を常に学習者に持たせられるよう留意しました。
- ・各レッスンは, 「①導入→②活動→③発展」の3ステップの構成です。レッスンのゴールとなる「③発展」のステップでは, **SHARE & WRITE** の活動を通して, 情報や考え, 気持ち, 意見や主張, 問題の解決策などについて, 聞き手・読み手を説得する力を養うことに主眼をおきました。
- ・各レッスンのテーマには, 「町づくり」「時間の過ごし方」といった日常的な話題から, 「人類共通の課題」「多様性」といった高校生の興味・関心に訴える社会的な話題まで多様なテーマを選び, 論理・表現Ⅰ, Ⅱよりも幅広い話題について伝える力を養えるように配慮しました。

レッスン以外には, 以下のコーナーを用意しました。

**Introduction** (pp.6-15) : 論理的に考えて伝えるためのウォームアップを目的としたページ。

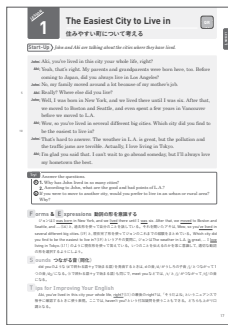
**EXTENSION** : 各レッスンのテーマについて発展的なトピックや資料などを紹介して, より深く考え, それを伝える活動を目的としたページ。

**Zone REVIEW** : Logical Thinking で論理的に発信するための流れや注意点を確認し, Forms & Expressions で文法や表現のポイントをまとめ, 各ゾーン全体の振り返りを行うためのページ。

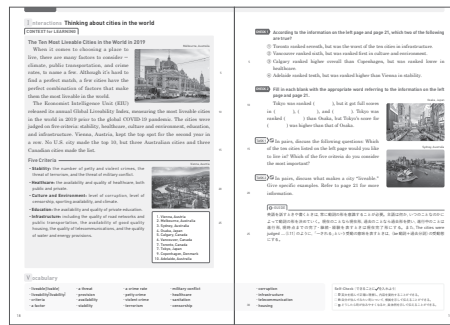
### (3) 各レッスンの構成

各レッスンの「①導入→②活動→③発展」の3ステップ構成の詳細は, 以下の通りです。ステップごとに学習上の目的を明示し, 指導者にも学習者にも学習の過程が一目で分かるようレイアウトを工夫しました。

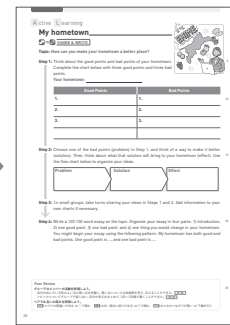
### ①導入



### ②活動



### ③発展



- ① **導入（授業への導入）** さまざまな話題の会話や英文（Start-Up）を提示して、英語の形や語順、表現、発音・アクセント・イントネーションを意識しながら発話する練習をします。
- Start-Up** レッスンごとに設定したテーマにそった英文で学習ポイントを学びます。Try! の設問で内容理解の確認ができます。
- Forms & Expressions** 英語で発信するために必要な英語の形（文法）と表現を確認します。
- Sounds** 話す内容がより正確に伝わるように、発音・アクセント・イントネーションの確認をします。
- Tips for Improving Your English** 英語の発信力を高めるヒントを紹介します。

- ② **活動（Interactions）** 各ゾーン（3レッスン構成）の最初の2レッスンで、レッスンのテーマにそった資料を読み解き、自分の意見や調査内容を伝える活動を行います。さまざまな CHECK（文法と知識の確認）と TASK（話す [やり取り], 話す [発表], 書く）の活動を通して思考・判断・表現の力を身に付けます。最後の1レッスンで各ゾーンのまとめとして、プレゼンテーション・スピーチ・ディベートを行います。

- ③ **発展（Active Learning）** レッソンのテーマにそったトピックに関する発信活動を行います。「話す」活動と「書く」活動を組み合わせて行うことで、論理の構成や展開を工夫して詳しく話したり、複数の段落からなる文章を書いたりする力を身に付けます。
- SHARE&WRITE** トピックについて考え、ペアやグループで話し合った結果を踏まえ、情報や考え、気持ち、意見や主張、問題の解決策などを伝える文章を書きます。各レッスンで提示したステップを踏むことで、自分の考えをまとめ、それをクラスメイトと共有し、最後に文章としてまとめることができる構成となっています。

### 学習到達目標の提示

上記に加えて、レッスンごとの学習到達目標を Self-Check、Zone ごとの学習到達目標を Study Flow として提示することで、学習者に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いました。また、各レッスン4ページ目の Active Learning では、Peer Review としてクラスメイトとお互いの活動を評価する場を設けています。

- **Self-Check** : 各レッスンの3ページ目に掲載。学習到達目標をチェック欄とともに提示しました。
- **Study Flow** : 教科書の後見返しに掲載。各レッスン、各ゾーンの学習到達目標をチェック欄とともに提示しました。
- **Peer Review** : ペアやグループでお互いの活動や英文を評価するための項目をチェック欄とともに提示しました。

### レッスン以外のページ

- **前見返し** : 英語による授業で活用できるように、前見返しに「ペアワークのための英語表現」「グループワークのための英語表現」を整理して掲載しました。
- **後見返し** : 学習者が今後社会に出た際に必要になる「面接で使う表現」を掲載しました。
- **Tips for building your vocabulary** : ボキャブラリーを増やすさまざまな方法を紹介しました。
- **Supplements** : 各レッスンの Active Learning および Interactions の解答例を紹介しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容								該当箇所	配当時間	
教材名	言語材料	(1)	(2)	(3)								
				①言語活動				②言語の働き				
				ア	イ	ウ	エ	ア 使用場面	イ 働き			
LESSON 1 The Easiest City to Live in	動詞の形 (適切な動詞の選択・主語と動詞の呼応・動詞の時制・動詞に続く要素・助動詞)	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア)	(ア) 地域 (ウ) データ	(ウ) 要約する (エ) 提案する	pp.17-20	2	
LESSON 2 The Value of Libraries		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア)	(ア) 地域, 学校 (イ) 図書館 の案内 (ウ) データ・ グラフ	(ウ) 説明する (エ) 提案する	pp.23-26	2	
LESSON 3 Improving Our Town		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア)	(ア) 地域 (イ) プレゼ ンテーション (ウ) 提案書, スライド	(エ) 提案する (オ) 説得する	pp.27-32	4	
LESSON 4 Free Time		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア)	(ア) 家庭, 学校 (イ) 高校生 新聞 (ウ) データ・ グラフ	(イ) 共感する (ウ) 比較し説 明する	pp.35-38	2	
LESSON 5 New Sports and Entertainment		形容詞・副詞 (適切な形容詞, 副詞の選択・ 分詞構文・比較)	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア)	(ア) 地域 (イ) 情報通 信, 講義	(ウ) 要約する (エ) 比較し説 明する	pp.39-42	2
LESSON 6 Enriching Our Lives		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 学校, 家庭 (イ) スピー チ (ウ) 電子 メール	(イ) 共感する (エ) 提案する (オ) 説得する	pp.43-46	4	
LESSON 7 A Common Concern		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 環境, 地域 (ウ) データ・ グラフ	(ア) 話題を発 展させる (ウ) 要約する (エ) 解決策を 示す	pp.49-52	2	
LESSON 8 Maintaining the Ecosystem		名詞に説明を加える (関係詞・名詞に〈主 語+動詞〉を続ける・ 分詞・前置詞句・名 詞のあとで使う形容 詞)	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 環境, 地域 (イ) ニュー スレポート (ウ) データ・ グラフ	(ウ) 理由を述 べる (エ) 解決策を 示す	pp.55-58	2
LESSON 9 A Sustainable Lifestyle		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 環境, 地域 (イ) デイベ ート (ウ) データ・ グラフ	(ア) 話題を発 展させる (ウ) 理由を述 べる (エ) 賛成する, 反対する, 主 張する, 推論 する	pp.59-66	4	

LESSON 10 The Evolving Japanese Workforce		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア) 地域 (ウ) データ・ グラフ	(ウ) 要約する (エ) 賛成する, 反対する	pp.69-72	2
LESSON 11 Inside Fairtrade	不定詞 (名詞用法・意味上 の主語・形容詞用法・ 副詞用法・動名詞と の使い分け)	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア)	(ア),(イ)	(ア) 地域 (イ) 団体の 情報 (ウ) データ・ グラフ	(ウ) 理由を述 べる (エ) 賛成する, 反対する	pp.73-76	2
LESSON 12 Volunteering to Help		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア) 学校 (イ) ポスタ ー, プレゼン テーション (ウ) 応募書 類, スライド	(イ) 褒める (オ) 説得する	pp.77-81	4
LESSON 13 Trends in Studying Abroad		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア)	(ア),(イ)	(ア) 学校, 家庭, 職場 (ウ) データ・ グラフ	(ア) 話題を発 展させる (エ) 意見を述 べる	pp.85-88	2
LESSON 14 English as an Official Language	文のつながり (名詞節・副詞節・if 節・ディスコース マーカー)	ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア),(イ)	(ア) 地域 (イ) デイベ ート (ウ) 公用語 資料	(ア) 話題を発 展させる (ウ) 理由を述 べる (エ) 賛成する, 反対する, 主 張する, 推論 する	pp.89-94	4
LESSON 15 Understanding Diversity		ア(ア), (イ)	ア, イ	ア	(ア),(イ)	(ア)	(ア),(イ)	(ア) 学校, 家庭 (イ) 哲学者 の言葉の引 用 (ウ) データ・ グラフ	(ウ) 理由 (エ) 意見を述 べる	pp.95-98	2
計											40